

EUSI メールマガジン Vol. 072

「ヨーロッパが進める「知」の流動化計画」(松塚ゆかり)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 054】

「ヨーロッパが進める「知」の流動化計画」

松塚ゆかり (一橋大学森有礼高等教育国際流動化センター教授)

欧州共同体の形成過程において中心を成してきたのは、「物」「サービス」「資本」の域内移動の自由化であった。「人」の統合、つまり域内住民の円滑かつ効果的移動を促す欧州統一指針については、法基盤の整備及び通貨や物流の統合政策に比較すると、少なくとも1980年代までは、積極的に打ち出されていたとは言えない。しかし、1989年の東西冷戦の終結を経て、またグローバル化の進展に伴い、欧州域内外の人の移動が活発になり、その政治経済に及ぼす影響が強まるに連れて、欧州共同体にとって「人」の移動のありようは高い関心事となった。

人の移動はその性質上、難民などに見られる、政治や経済の不安により移動を余儀なくされる場合と、個人の意志と希望により自主的に移動する場合とに分けられよう。前者は極めて重要な課題であることは言うまでもないが、本稿では後者、特に高度な知識や技能を有する個々人の、自由意志による地域間移動に着目したい。なぜなら欧州連合は高度人材の移動が極めて重要な社会・経済効果を有することをヨーロッパの歴史上強く認識しており、今、その経験を教育制度改革や人材開発計画に具体的に反映し、世界的に進展する知識基盤経済に対応する「知の流動化計画」ともいえる大がかりな構想を、世界に向けて発信しているからである。

知識人の移動を前提とした経済応答的人材開発は、欧州における教育政策の要になっていると言える。「移動する知識人」と「経済環境に応答的教育」という概念は欧州に古くから存在し、最も古い歴史を遡ると、紀元前5世紀からギリシアのアテネを中心に活動したソフィスト(弁論家・教育家)があげられよう。ソフィストは、「遍歴教師」(英語では peripatetic teachers)とも呼ばれ、地理的そして政治的境界を越えて移動した。彼らは中産階級の出身者から構成され、富裕層並びに貴族の子息の教育を請け負い、彼らの求めを受けて知を提供し生業を立てた。無論、旅を重ねることにより知識を確認、伝達し、思想を深め磨いたに違いないが、そこには・・・

・・・

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol54.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI「日・EU 関係」国際シンポジウム

日時: 2015年6月27日(土) 13:00-18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 B4 ディスタンスラーニングルーム

言語: 英語 (通訳なし)

参加: 無料・事前申込不要

第1部 (13:00-15:20)

報告:

Axel Berkofsky (イパヴィア大学教授)

"EU-Japan Political and Security Cooperation:

What's Good, What's Bad, What's Ahead?"

「日・EU 政治・安全保障協力: 何が良く、何が悪いのか、また何が待ち受けているのか？」

Paul Midford (ノルウェー科学技術大学教授)

"'Pro-active Pacifism' and EU-Japan Cooperation at the Nexus of
Development and Security"

「"積極的平和主義"と開発・安全保障で繋がる日・EU 協力」

武藤顕 (外務省欧州局参事官)

"The Japan-Europe Cooperation in Addressing Current Security Issues"

「現在の日欧安全保障協力」

司会・討論: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授、EUSI 執行委員)

第2部 (15:40-18:00)

報告:

Julie Gilson (バーミンガム大学東アジア研究科准教授)

"Still in Search of a Strategy: EU-Japan Relations and the SPA"

「いまだ戦略を求めて: 日・EU 関係と戦略連携協定」

鶴岡路人 (防衛研究所主任研究官)

"The 'China Factor' in Europe-Japan Relations"

「日欧関係における"中国要因"」

Alexander McLachlan (駐日 EU 代表部公使参事官・政治経済部長)

"Coming of Age of the EU-Japan Strategic Partnership"

「成熟した日・EU 戦略的パートナーシップ」

司会・討論: 明田ゆかり (外務省経済局国際経済課課長補佐)

<http://eusi.jp/outreach/conference-symposium/conference-politics/j-eu20150627/>

<http://eusi-politics.tumblr.com/post/121404942945/eusi-eu-2015-6-27>

2. EUSI 政治プロジェクト講演会

日時: 2015年7月2日(木) 17:00-18:30

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎 7F 476 教室

講演: Hartmut Mayer (オックスフォード大学 St Peter's College 講師)

""Brexit?", "Grexit?" and the Ukraine Crisis: The State of
the European Union and Its Implication for EU-Japan Relations"

「英国やギリシャの EU 離脱? そしてウクライナ危機:

EU の現状と日・EU 関係への示唆」

討論: 池本大輔 (明治学院大学法学部准教授)

言語: 英語 (通訳なし)
参加: 無料・事前申込不要
<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/seminar-politics/2015-0702/>

3. EUSI 政治プロジェクト講演会

日時: 2015年7月16日(木) 16:30-18:00
場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎 7F 475 教室

講演: Hendrik Huelss (コペンハーゲン大学安全保障理論研究センター研究員)
"A Normative Strategic Alliance?
The European Union's and Japan's Security Cooperation"
「規範的で戦略的な同盟? - 日本とEUの安全保障協力」

討論: 網谷龍介 (津田塾大学学芸学部教授、EUSI 執行委員)

言語: 英語 (通訳なし)
参加: 無料・事前申込不要
<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/seminar-politics/2015-0716/>

4. 東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)よりご案内です 「フォルカー・ブフィエ (独ヘッセン州首相・ドイツ連邦参議院議長) 講演会」

日時: 2015年7月2日(木) 17:00 より
場所: 東京大学駒場キャンパス 18号館ホール

講演: Volker Bouffier (独ヘッセン州首相・ドイツ連邦参議院議長)
"Die europäische Integrationsentwicklung aus dem Blickwinkel einer
starken Region im Zentrum Europas"
「中央ヨーロッパに位置する力強い地域の視点からみたヨーロッパ統合の発展」

主催: 東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)
言語: ドイツ語 (日独同時通訳付き)
参加: 無料・事前申込要

事前申込・問い合わせ先: 東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)
(E-mail: desk@desk.c.u-tokyo.ac.jp Tel: 03-5454-6112)
<http://www.desk.c.u-tokyo.ac.jp/j/index.html>

5. EUJ 関西より以下ワークショップ(東京開催)のご案内です EUJ 関西アカデミック・ワークショップ「EU 対外政策における規範」

日時: 2015年7月5日(日) 15:00-16:30
場所: 関西学院大学東京丸の内キャンパスランバスホール
(JR 東京駅八重洲北口徒歩1分: 千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー10階)
http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000553.html

講演: フランツ＝ロタール・アルトマン (ルーマニア・ブカレスト大学教授)
"Norms in the EU's Foreign Policy"
「EU 対外政策における規範」

司会: 市川 頌 (EUIJ 関西顧問、関西学院大学産業研究所准教授・副所長)

言語: 英語 / 定員: 50名

参加: 無料・事前申込要 (6月30日まで)

事前申込: 名前・所属・連絡先(e-mail か FAX)を記入し、EUIJ 関西セミナー係 (EUIJ-150705@kwansei.ac.jp)または関西学院大学産業研究所(0798-54-6029) まで e-mail か FAX でお申込み下さい
http://euij-kansai.jp/layouts/eu_sub/documents/event/20150705workshop.pdf

【日・EU フレンドシップウィークのご案内 Vol. 2】

「日・EU フレンドシップウィーク」は、文化、学術、スポーツなどの様々な交流イベントを通して、EU をよりよく知ることを目的としたプログラムです

1. 「レシピ Library @ 一橋大学 私のおいしいヨーロッパ」

日時: 2015年7月1日(水)-7月31日(金)

場所: 一橋大学附属図書館 雑誌棟 1階スペース・公開展示室

(1) フレンドシップウィークと EU についての紹介:

「EU フレンドシップウィークについて」「EU 拡大の歴史について」

駐日 EU 代表部広報誌「EU MAG」紹介など

(2) ヨーロッパの料理と関連文献の紹介:

「レシピ Library @ 一橋大学 私のおいしいヨーロッパ」

EU 各国の料理に関する本 (レシピ・食文化など) の展示

(3) クイズと景品の授与:

展示内容に関するクイズの出題と、正解者へ EU 関連グッズの授与

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

小川英治編『ユーロ圏危機と世界経済 信認回復のための方策とアジアへの影響』

(東京大学出版会、2015年6月29日刊行予定)

<http://www.utp.or.jp/bd/978-4-13-040271-2.html>

<http://www.amazon.co.jp/dp/4130402714/>

小川英治 (一橋大学大学院商学研究科教授、EUSI 顧問)

「はしがき」「序章 ユーロ圏における財政危機とその対応」

「終章 総括及びユーロの今後の行方」

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)

「第3章 ユーロ圏危機への法的対応」

編者の小川英治先生より、本書のご紹介を頂きました。

本書『ユーロ圏危機と世界経済 信認回復のための方策とアジアへの影響』は、ユーロ圏危機がユーロ圏経済に及ぼした影響と様々な政策対応とともに、アジア経済を含め世界経済に及ぼした影響をメインテーマとした。

このメインテーマの下に、8人の研究者が集まって、これらのユーロ圏危機に関連する諸問題に対して考察を行った。8人のメンバーは、経済学者のみならず、EU法を専門とする法学者、中西優美子教授(EUSI 所長)も加わり、ユーロ圏危機に対するEUの対応を経済学的・法学的両アプローチから考察した。

2009年10月の政権交代がトリガーとなって起こったギリシャの財政危機がポルトガル、アイルランドなどに波及し、ユーロ圏危機に発展した。IMFも巻き込んで、ECBとEU全体で対応せざるを得ない状況となった。加えて、ユーロ圏危機後の欧州安定メカニズムの設立・稼働や財政安定同盟や銀行同盟の設立などに向けた取り組みが、再燃しつつある危機の火消しに回っている。ECBが2015年3月より日米に対して周回遅れで量的金融緩和政策を開始し、その景気回復効果及びデフレ突入に対する抑制効果が待ち望まれている。

一方、2014年10月に発表されたECBによる金融機関に対するストレス・テストで25銀行で総額246億ユーロの資本不足が指摘された。今後、金融問題が深刻化することのないよう、銀行同盟の3本の柱である、単一監督メカニズムと単一破綻処理メカニズムと預金保険制度の設立・運用が注目される。

本書の前半では、ユーロ圏危機とその政策対応について考察が進められた。そこでは、ユーロ圏における財政危機とその対応、金融危機としてのユーロ圏危機、ユーロにおける金融規制とユーロ危機の影響、リスボン条約改正からみるユーロ圏の金融危機とその対応について考察し、ユーロ圏それ自体が最適通貨圏であるかどうかについて再検証を行った。一方本書の後半では、ユーロ圏危機が世界のマクロ経済に及ぼす影響、アジアのリアルセクターに及ぼす影響、そして、アジアの通貨に及ぼす影響について、実際のデータを見ながら、考察が進められた。

工藤芽衣 (EUSI 研究員兼プログラム・コーディネーター(経済))
「イギリスの「コレクティブ・アプローチ」案とヨーロッパ 1950年代における交換性回復問題の社会政治的側面」
『日本 EU 学会年報』第 35 号(2015年6月) 164-182 頁
<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641299917>

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)
「EU および構成国による『ハイブリッド』決定の合法性」
『国際商事法務』第 43 巻第 6 号(2015年6月) 922-926 頁
<http://www.ibltokyo.jp/bulletin/1036.html>

【EU に関するニュース】

- 2015年6月1日 独仏及びEU・ECB・IMF トロイカ首脳緊急会合。ギリシャ支援に関する集中的作業継続を協議
- 2015年6月2日 ファン＝ロンパイ欧州理事会前常任議長、日・EU 俳句交流大使就任。任期2年
- 2015年6月2日 EU 報道官、前日の中国長江での大型客船「東方之星」号沈没事故(442名死亡)に対し哀悼声明
- 2015年6月2日 Pew Research Center、EU 市民の EU 信頼度改善の一方で反 EU 政党伸張も肯定評価との調査発表
- 2015年6月3日 ユンカー委員長、ダイセルブルーム・ユーログループ議長、ギリシャ首相に緊縮策断行要求
- 2015年6月3日 ECB 理事会、主要政策金利据置き、量的緩和策継続、新興国の経済失速、ギリシャ問題等協議
- 2015年6月3日 欧州議会、ロシア政府の EU 要人 89 名入国拒否措置を受け、駐 EU 露大使の欧州議会入場禁止
- 2015年6月3日 OECD、世界経済成長概観発表。ユーロ圏は 2015 年 1.4% 成長と予測、前年の 0.9% より加速
- 2015年6月3日 Eurostat、4 月失業率(季節調整済)はユーロ圏 19 カ国で 11.1% で小幅改善。EU28 カ国は

9.7%

- 2015年6月3日 Eurostat、4月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏19カ国で前月比+0.7%、EU28カ国同+0.6%
- 2015年6月3-4日 EU「欧州開発デーズ2015」(EDD15)開催。約140カ国・1200団体の参加者が開発・成長協議
- 2015年6月3-5日 カレハ欧州委員会域内市場・産業・起業・中小企業総局長訪台。EUと台湾の産業協力推進
- 2015年6月5日 EU報道官、台湾で6名に死刑執行(銃殺刑)したことを受け、死刑執行停止導入求める声明
- 2015年6月7日 英保守党議員50名超、党内派閥「英のための保守党」(CfB)結成。EU改革失敗なら離脱推進
- 2015年6月7-8日 G7首脳会議、独エルマウ城で開催。先進7カ国及びEU首脳、中東・ウクライナ危機等協議
- 2015年6月8日 モゼリーニ上級代表ら、前日のトルコ総選挙の高投票率を評価、対トルコ協力推進謳う声明
- 2015年6月8日 英ComRes社世論調査、英EU残留派は58%と過半数が残留支持。離脱派31%、立場未決は11%
- 2015年6月8-10日 ゲオルギエヴァ欧州委員訪中、張高麗副首相や金立群 AIIB 多国間臨時事務局長らと会談
- 2015年6月9日 Eurostat、1-3月実質GDP(改定値)はユーロ圏19カ国・EU28カ国で共に前期比+0.4%
- 2015年6月9日 英議会、EU残留の是非問う国民投票法案を第二読会にて544対53で可決
- 2015年6月10日 第7回日・EU関税協力合同委員会、日・EU税関手続のデジタル化に関する仕様管理文書調印
- 2015年6月10日 EU報道官、パキスタンでの死刑執行及び少年犯罪被告からの嘆願の却下を憂慮する声明
- 2015年6月10日 駐中EU商工会議所調査結果、前年に比べ中国経済の成長鈍化や人員削減計画の欧州企業増
- 2015年6月10-11日 EU・南米カリブ諸国共同体(CELAC)首脳会議、FTA交渉推進やビザ免除対象国拡大で合意
- 2015年6月11日 欧州委員会、米Amazon社が電子書籍で自社に有利な条項を出版社に強要の疑いで調査開始
- 2015年6月11日 欧州議会、6月2日に辞任表明したブラッターFIFA会長の即時辞任を求める決議を可決
- 2015年6月11日 Eurostat、2014年EU対外サービス貿易額は、1位米国で3757億ユーロ、3位中国、日本は5位
- 2015年6月12日 第7回EU・メキシコ定期首脳協議。戦略的パートナーシップや近隣地域政策・移民協力強化
- 2015年6月12日 Eurostat、4月鉱工業生産(季節調整済)はユーロ圏19カ国・EU28カ国で共に前月比+0.1%
- 2015年6月12日 韓国中銀、2014年度国際収支発表。対EU貿易は130.6億ドル赤字で前年比83億ドル赤字増
- 2015年6月14日 ギリシャ及びEUら債権機関の実務当局協議、ものの45分で決裂、ギリシャ支援条件に開き
- 2015年6月15日 EU法務理事会、新たなデータ保護規制に関する欧州委員会案の全体方針を承認
- 2015年6月15日 欧州委員会、南西欧州地域のエネルギーインフラ計画を推進するハイレベルグループ発足
- 2015年6月15日 Eurostat、4月対外貿易収支はユーロ圏19カ国で249億、EU28カ国122億ユーロで共に黒字

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、一橋大学森有礼高等教育国際流動化センター教授の松塚ゆかり教授に執筆していただきました。

森有礼は幕末にロンドン大学で近代的学問を学んで帰国した後、明治期の外交や教育の分野において大きな業績を残しましたが、一橋大学の前身である商法講習所を創設した人物でもあります。初代文部大臣でもあります。欧化主義が過ぎて暗殺されたとも言われています。

彼の名にちなんで昨年設立された同センターでは、「チューニング(Tuning)」

という事業をその基幹事業として位置付けています。チューニングとはいささか聞きなれない言葉ですが、まさに楽器を調律するように、教科や課程の到達目標、学習内容の詳細、養成される能力、必要な人的・物的資源、課程修了後の成果等を国内外の大学間で共有することにより、国際的な共通理解に基づいたコース設計と単位・学位認定の基盤を構築し、大学教育の国際的な質の保証へとつなげるものとして定義されています。

チューニング事業は EU を中心に世界に拡大しつつあり、学生、研究者、高度人材の国際流動化を促進する大きな基盤となっています。EUSI においても今後、こうした同センターや EU の試みに積極的に協力していきたいと考えています。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン 編集担当)

ここ最近 EU に関する学術的な出版が相次いでいます。

まず日本国内の EU 研究の総本山・日本 EU 学会の学会誌『日本 EU 学会年報』が刊行されました。これは昨年度の同学会研究大会(共通論題「EU の連帯」)の報告及び 9 本の独立論文から成っており、いずれも日本国内の EU 研究の最先端の水準を示すものとなっています。

また日本最大の外交政策シンクタンクである日本国際問題研究所の定期刊行物『国際問題』の 5 月号は「揺れる EU」という刺激的なタイトルの特集が組まれており、危機に直面する EU を歴史・経済・ウクライナ・ドイツなどの問題に照らした読み応えのある論文が所収されています。

また英語による研究成果も相次いでいます。まず、EU の東方拡大や南東欧地域経済がご専門の小山洋司先生(新潟大学名誉教授)による『The EU's Eastward Enlargement: Central and Eastern Europe's Strategies for Development』が

今年 2 月に刊行されました。本書は EU の東方拡大を受けた南東欧諸国の経済体制の変容が描かれており、先生が 11 年前の第 5 次 EU 拡大時に刊行された『EU の東方拡大と南東欧』(ミネルヴァ書房、2004 年)を現代的視点で捉え直した労作です。

そして EUIJ 早稲田の日・EU 関係研究プロジェクトが『The European Union and Japan: A New Chapter in Civilian Power Cooperation?』として 4 月に刊行されました。本書は日本と EU をシビリアン・パワーと捉えた上で、両者の協力関係を経済・貿易・環境・エネルギーなど様々な政策領域で描いた最先端の論文集で、ファン＝ロンパイ欧州理事会前常任議長が巻頭言を寄せています。なお、本書の刊行イベントが、6 月 30 日に EUIJ 早稲田で行われる予定ですので、ご関心のある方はぜひチェックしてみてください。

日本語による学術書では、上記にも紹介した小川英治先生編の本の他にもう 1 冊、臼井陽一郎先生(新潟国際情報大学教授)を中心とする研究プロジェクトの成果が今月『EU の規範政治』(ナカニシヤ出版)として刊行されました。こちらは次号の EUSI メールマガジンで臼井先生にご紹介を頂く予定です。ご期待下さい。

『日本 EU 学会年報』第 35 号『EU の連帯』(日本 EU 学会、2015 年 6 月刊行)

<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641299917>

『国際問題』第 641 号『揺れる EU』(日本国際問題研究所、2015 年 5 月 15 日刊行)

<http://www2.jiia.or.jp/BOOK/backnumber.php>

Yoji Koyama, *The EU's Eastward Enlargement: Central and Eastern Europe's Strategies for Development* (World Scientific, February 2015)

<http://www.worldscientific.com/worldscibooks/10.1142/9152>

Paul Bacon, Hartmut Mayer & Hidetoshi Nakamura, eds., *The European Union and Japan: A New Chapter in Civilian Power Cooperation?* (Ashgate, 2015)

<http://www.ashgate.com/isbn/9781472457493>

臼井陽一郎編『EU の規範政治』(ナカニシヤ出版、2015 年 6 月 15 日刊行)

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b200748.html>

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
